

# 大正地区 地域づくり懇談会 議事録

1 日 時 平成28年8月17日(水) 19:00~20:10

2 会 場 大正地区公民館

3 出席者 地元出席者 31名

市側出席者 16名

深澤市長、羽場副市長、河井総務部長、高橋防災調整監、田中中核市推進局長、田中企画推進部長、久野地域振興局長、国森農林水産部長、綱田都市整備部長、澤田環境下水道部長、尾室教育委員会事務局長、渡邊秘書課長  
<事務局>福島協働推進課長(司会)、岡本協働推進課課長補佐、酒本協働推進課主任、北村協働推進課主事

## 4 中核市移行についての説明

(中核市推進局長) ※チラシに基づき説明

## 5 第10次総合計画についての説明

(企画推進部長) ※チラシに基づき説明

## 6 地域の重要課題について

### 1 大正小学校体育館の暗幕等設置について

<地域課題>

前回の地域づくり懇談会で、暗幕、ステージ幕設置の必要性について説明し、教育長から「予算の範囲内での優先順位を考えながら、今後学校と協議した上で設置を検討していきたい。」との回答を得ているが、検討結果が地区に示されていない。

いつまでもこの状態が続くのは教育上また、地域活動に支障をきたすので、地区としても何らかの対策を講じなければならないと考えているところである。

緞帳まで希望するものではないが、設置の可能性について再度お尋ねしたい。

<担当部局の所見等>

【教育委員会】

暗幕等については、体育館の建設時に設置していますが、その後の経年劣化による破れや落下のため、取り外している学校もあります。そのような中、PTAや同窓会など地域の方々に設置している例もあります。

大正小学校体育館の暗幕設置については、学校からの営繕要望を踏まえ、協議を行った結果、平成28年10月26日に本校で開催される鳥取市小学校教育研究会発表大会までに設置を計画しています。

(教育委員会事務局長)

平成26年の地域づくり懇談会のフリートークでいただいた暗幕設置の質問について、地元の皆様に検討結果をお示しできていないことにつきまして、まずもってお詫び申し上げます。申し訳ありませんでした。

改めて学校と検討し、10月中旬頃までに両面に暗幕を設置したいと考えています。



(地元意見)

実は大正地区は防災訓練なども実施しています。今年度は講演後に図上訓練をしようと考えています。小学校体育館では実施できないため地区体育館で予定したりしていますが、駐車場がなく苦慮したこともあります。

10月26日までに設置するという回答でしたが、10月15日に千代ブロックの人権同和教育推進協議会による研究集会があり、大正地区が当番になっています。何とかその日までに設置をお願いしたいです。間に合わない場合は、上に上がって段ボールか何かを貼りつけるなどの作業が発生するため、危険も伴います。

(教育委員会事務局長)

分かりました。何とか10月15日までに設置するよう努力したいと思います。

## 2 下水道整備の進捗状況について

### <地域課題>

前回の懇談会で、第9次総合計画における整備予定について説明があったが、第10次総合計画において大正地区の整備計画はどのようになっているか。

関連して、下水道整備の遅れにより、古海工業団地内から灰色の汚水が農業用水路に放出され千代川に流れ出ている現状がある。小魚の死骸が浮いたり、全く生物が住めない水路と化しており、農作物への被害や千代川下流域を含めた住民の健康被害を引き起こす恐れがないとは言えない。

鳥取市には、汚水検査及び汚水流出防止を講ずるなど、住民の不安を解消して安全安心な暮らしができる地域としての対策をお願いしたい。

### <担当部局の所見等>

#### 【環境下水道部】

第9次総合計画、第10次総合計画につきましては、ともに市街化区域や水質保全上重要な地域を中心に下水道整備を推進する計画としています。

大正地区の下水道整備方針としては、まず国体道路北側を、古海、徳尾、緑ヶ丘の3つ

の区域に分け、それぞれの区域ごとに順次整備を進めるようにしています。下水道整備に際しては、主に生活道路での工事となることから、過度の交通規制が生じないように工事区間を設定し整備を進めています。

山ヶ鼻地区につきましては、農業集落排水の統合事業に併せて整備を行う予定としています。

古海上地区につきましては、下水道の幹線ルートとして県道高路古海線を考えていますが、重要な地下埋設物が多く、埋設位置に苦慮しているところです。今後、本格的な調査を行い、幹線ルートを含め排水計画を再検討することとしています。

#### 【関連】 古海工業団地の汚水流出について

古海工業団地内の水質汚濁について、公民館長さんからの聞き取りを基に、数回にわたり現地を確認しましたが、異常は確認できませんでした。今後、水質汚濁の状況を現地で確認し、採水、水質調査を行ったうえで原因と思われる事業所に指導を行いたいと思いますので、汚濁が認められるような場合には、生活環境課へ通報していただきますようお願いいたします。

浄化槽の管理については、法定検査未受検の方、及び検査結果が不適合の方に文書で指導しています。また、点検時に異常があれば、点検業者が所有者に報告し改善しています。

(環境下水道部長)

現在、国体道路の北側のうち、徳尾エリア、緑ヶ丘エリア、そして高草団地と古海1区から4区までのエリアの3つのエリアを中心にして整備を進めているところです。下水道の整備は道路を掘るので、整備が1か所に集中すると皆様の生活が困られることがあり、工事を分散させて施工しています。

スクリーン上、青色は整備済みのエリアです。赤色は28年度の整備予定エリアです。緑色の緑ヶ丘や古海の2

区、徳尾のバス路線の南側などは、来年度整備予定のエリアです。そして、黄色のエリアは、30年以降の整備予定としています。

徳尾エリアについては、まずは国道の西側を重点的に整備し、その後、さらに西側の徳尾の集落側の整備を進めたいと考えています。

緑ヶ丘エリアは家が建っていない所や太陽光発電設備がありますので、それ以外の家が建っている部分について、30年以降重点的に整備を進めていきたいと考えています。

古海エリアは、引き続き国体道路から北側を優先的に進めていきたいと考えています。

古海上や工業団地については、現在、計画を検討中です。もともと、下水道の幹線ルートとして県道高路古海線を考えていましたが、このルートを実際に検討していくと、工業用水道管や直径60cmもある上水道管、NTTケーブルや、皆様が日常使用される水道



の水道管が埋設されており、下水道管が入るスペースがない状況です。他にルートがないかと検討していますが、よいルートがなかなかありません。再度調査し、改めて整備計画を立てていこうと考えているところです。

山ヶ鼻地区については、現在、東郷地区の集落排水の統合整備計画がありますので、それに併せて東郷地区の集落排水事業で整備したいと考えています。現在、山ヶ鼻を東郷地区に入れるよう国や県に申請しているところです。東郷地区の統合計画なので、まずは処理場を拡大し管路をつなぐ工事が完了してから、山ヶ鼻の皆様の集落に工事が入ることになります。

(地元意見)

山ヶ鼻は集落排水事業に併せて整備する予定で、現在、国と県に申請しているとの回答でしたが、私達がこの問題を取り上げて要望したのは、平成24年度の地域づくり懇談会の時です。その時は、東郷地区の農業集落排水に接続するという回答でした。私達の地区として、全戸から同意書を取って市に届けていますが、あれから4年経過したのに、山ヶ鼻に対して現状の説明が全くありません。

具体的にいつ頃になるのか、聞かせてください。

(環境下水道部長)

東郷地区の集落排水事業では、いくつかある各処理場を一つにまとめようとしています。その部分で、東郷地区の皆様の調整がはかどらず、少し時間がかかって遅れているという状況です。

現在、ある程度よい話でまとまってきたので、国及び県に申請しているところです。できる限り国の補助を受けながら進めたいと考えていますので、国や県の手続きを踏みながら進めています。若干遅れぎみであることについては申し訳ないと思います。

その都度皆様に報告していないということですので、今後は逐次説明していきたいと思っています。東郷地区の絡みもあり、調整しながら進めてきた経緯があります。連絡が遅くなって大変申し訳ありませんでした。

(地元意見)

古海上については、平成24年度の地域づくり懇談会の際は、予算がないため見通しはないという状況だったと思います。平成30年以降の整備とのことですが、どのような計画で進行するのか教えてください。

東郷団地は、初めから下水環境整備がセットで計画が進められたと思いますが、私達が住んでいるこの地域は、下水環境の整備がないまま現在に至っており、農業排水路に流されているという現状がありますので、生活基盤の充実、環境整備の面で、特段に配慮しながら進めてほしいです。

(深澤市長)

先ほど環境下水道部長が、幹線の埋設の位置に苦慮していると説明したとおり、いろいろな管が埋設されており、当初考えていたルートでは難しいと考えています。まずは位置

をどうするか検討したいと思います。

下水道整備については、鳥取市は全国的にも早い段階から取り組んでおり、その必要性や重要性は十分認識しています。できる限りということしか今は申し上げられませんが、すでに具体的な検討に入っていますので、鋭意努力したいと思っています。

(地元意見)

地域からの課題の中で、汚水の問題を挙げています。今そこに関する回答がありませんでした。

汚水は浄化して流すのが普通です。合併浄化槽も同様です。未だにこんな企業があるのかと呆れるばかりですが、グレーの水が随分と出てくるのはどういったことでしょうか。処理されていないと理解すればよいでしょうか。

古海上と菖蒲との間に工場団地がありますが、この辺りは農業用地も多く、大井手から引いている用水路があります。工場団地には排水溝がなく、排水がこの用水路に流してあります。各工場から出ているのではなく、地中に合併槽のような水路が埋まっているそうです。全てまとめて流れてきますので、どこの工場の排水かは分かりません。私達の先輩は、何度もひどい目に遭っています。今の時期は大井手の水が流れているので薄まっていますが、9月10日頃には大井手の水は流れなくなるので、工場の排水がそのまま千代川に出て、市長の住む賀露まで流れています。

犯罪とは言いませんが、大変な量の汚水が流れていますから、洗浄などで結構薬品を使用していると思うのです。こんな汚い水をよく平気で流しているなと思います。どの企業かは分かりませんが、住民を軽視されたようなことで、本当に許しがたいです。住民には分からないと思って流しているのだろうかと思えます。

地中に埋まっている水路なので、原因者は分かりづらいと思いますが、市から指導してほしいです。それも一度や二度で済ますのではなく、厳しく指導してほしいです。企業から回答がきたらその回答を私達にも開示して欲しいと思うほど、住民が怒っています。

(環境下水道部長)

工業団地の道路内には配管が入っており、そこに各工場からの排水等も入って、まとめて水路に流れています。

7月に地区公民館長から要望をお聞きし、生活環境課が現地に出向きましたが、確認できませんでした。汚水が出ていると聞いて現地に確認しに行っても、すでに流れ切った後ということもあります。もしもそういう現象があった場合はすぐに生活環境課に連絡をいただければ、すぐに職員が出向き、採水して水質試験を行うなど調査したいと思います。その結果が悪ければ企業に対して指導していくこととなりますが、企業が原因者であるという断定ができるかどうか難しいところです。そうなれば、道路内のマンホールを開け、追跡調査をして限定しなければならなくなります。なるべく早く通報していただきたいと思えます。

市としても、原因者である企業を限定して厳しく指導していきたいと考えているところです。



(地元意見)

あそこは昔からの小川で、たくさんのコブナがいましたが、去年の秋に見た時にはみんな死んでしまい、浮いて流れていました。有害な物質が含まれているのではないかと思います。

話が戻りますが、古海上の整備は平成30年以降とのこと。何とか一年でも一日でも早く整備してほしいです。

(環境下水道部長)

そういう問題が実際に起きているということで、現在、早く整備を進めたいと考え、鋭意努力しているところです。

(地元意見)

平成26年度の地域づくり懇談会で、地方創生で交付金をたくさんもらえるよう頑張ると市長が発言した記憶があります。鳥取市は今後、新庁舎の問題も含め多くの収入や支出があると思いますが、下水道整備は真っ先に取り組まなければいけないから、地方創生の交付金を充てるという話だったと思います。地方創生の交付金は潤沢に市に下りているのでしょうか。

(深澤市長)

地方創生の交付金も、担当省庁はいろいろあります。私も直接出向いてお願いしたり、鳥取市のPRをするなど、国からの交付金や交付税等を確保できるよう努力していますし、今後もさらにそういった取り組みをしっかりと行っていきたいと思っています。

下水道整備については、先ほども申し上げましたように、鳥取市は他の自治体と比較して、重要性をいち早く認識した上で取り組んでいるところです。当初の計画より遅れていることは申し訳ありませんが、幹線の管路の埋設場所等についてなど、すでに具体的な検討を始めています。財源もできる限り確保した上で、速やかに進めていきたいと思っています。

### 3 公民館施設耐震工事について

<地域課題>

平成29年度に地区公民館施設の耐震工事が計画されている。

現地区公民館施設は地区の人口規模に対して100人程度の集会所が限度と狭隘で倉庫もなく、また集会所は2階にあるため特に高齢者にとっては使い勝手が悪く、その上に予定される耐震工事でさらに利用が制限されるスペースも生じられると思われる。

新築される地区公民館がある中、当地区公民館は大きな経費を掛けて耐震工事が行われるが、将来の建て替え計画の有無等についてお尋ねしたい。

<担当部局の所見等>

【地域振興局】

現在本市が取り組んでいる地区公民館の改修は、耐震性に問題のある建物を緊急の課題

として順次整備を行っているもので、大正地区公民館については、平成29年度に耐震補強と機能改善を図る工事を予定しています。

耐震改修は建物が倒壊する恐れを防ぐためのものであり、建物の耐久性や老朽化が改善されるものではありませんので、まずは、危険性の高い施設について緊急的に安全性を確保し、引き続き建物の建築年や老朽度を見極めながら、「公共施設の再配置基本計画」も踏まえ、地区公民館全体の更新を計画的に進めることとしています。

(地域振興局長)

大正地区公民館は昭和56年に建設されました。鳥取市内の62の地区公民館のうち、22番目に古い建物です。

現在、本市では、耐震性に問題のある建物の改修を緊急の課題として順次整備しているところであり、大正地区公民館も平成29年度に耐震補強と機能改善を図る工事を予定しています。ただし、耐震改修は建物が倒壊する恐れを防ぐためのものであり、改修によって建物の耐久性や老朽化が改善されるものではありません。まずは危険性の高い施設について緊急的に安全性を確保し、その後、引き続いて建物の建築年や老朽度を見きわめながら、そして本市が進めている公共施設の再配置基本計画等も踏まえて、地区公民館全体の更新を順次計画的に進めていくこととしていますので、ご理解ください。

(地元意見)

今後の更新等については、公共施設の再配置基本計画を踏まえるという回答でした。

平成28年2月に示された「鳥取市公共施設再配置基本計画素案」には、例えば豊実地区公民館や東郷地区公民館の更新等検討時期は2045年からと記載されています。しかし、大正地区公民館に関しては、耐震工事の欄には記載されていますが、更新の欄には挙がってきていません。この基本計画をどう読み取ればよいのでしょうか。いつが更新時期になるのかが分かりません。もし、更新時期等が想定されているようなら、教えてください。今のままでは、いつになるか分からない状況です。素案には、新築された地区公民館ですら、すでに更新時期が入っています。

大正地区公民館は耐震工事をしたので、更新時期がいつか分かりません、計画はありませんということでは住民も納得できないのではないかと思います。

(深澤市長)

耐震改修をしたから更新時期が延びるということではないということだけのご理解いただきたいと思います。残念ながら、耐震対応をしても、その建物の寿命が延びることにはなりません。

まずは耐震改修を実施したいと考えています。建物の寿命はやがてやってきますので、その時期には再配置基本計画にも位置づけて更新させていただくことになると思います。

再配置基本計画は、あくまで現時点での計画であり、鳥取市の公共施設が今どれくらいあって、どういう状態にあるのかというデータをまとめた「鳥取市公共施設白書」に基づき、具体的な対応を示したものです。基本的な事項をまとめたものですので、個別具体的に位置づける時期がやってくると思います。その折には、どの辺りに更新をとということでお

示したいと思います。

(地元意見)

大正地区公民館は、今の大正地区の人口と比較すると、非常に狭いと思います。当地区では、住宅がどんどん増えるのに合わせて小学生も増加しており、公民館活動を活発に実施しています。しかし、地区公民館は今、使用できる部屋が今日の懇談会の会場になっているこの部屋しかありません。1階に宿直室のような部屋はありますが、そこ以外は使用できません。

会場になっているこの部屋は、使用したくても予約がとれず、各種団体が非常に困っています。1階のロビーで会議するなど工夫していますが、今度の改修工事でもうロビーも使用できなくなると聞きました。そうすると非常に困るので、全体的な計画をもう一度検討した方がよいのではないかと思います。たったこれだけの部屋しかありませんので、私は、耐震改修で無駄な金を遣うより建て直した方がよいと思っています。

(深澤市長)

大正地区公民館の面積は、現在347㎡です。鳥取市が基準としている標準的な地区公民館の床面積を450㎡としていますので、大正地区公民館は100㎡ほど狭い状況です。

また、昭和56年の建設ですでに35年経過しており、鳥取市内で22番目に古い地区公民館です。このように、狭く、年数もそこそ経過していることもあり、少し判断が難しいのですが、鳥取市全体のバランスの中で考えて進めていくこととなりますので、まずは緊急を要する耐震対応だけは実施したいと思います。やがて新築させていただく時期がくると思います。その時には、標準的な450㎡の地区公民館を建設していくことになろうかと思っています。

(地元意見)

地区公民館で会議をするにも、100人集めることはできません。100人集めようと思うと、まずはどこかに駐車場を確保しなければ集められないという事情があります。隣の保育園が廃園で空き地になっていますが、鍵がかかっていて入ることはできません。あそこに駐車できれば助かります。

今日の地域づくり懇談会も、あまり多くの人に集ってもらっては困るという考えで、あまり声をかけていないのではないかと思います。

駐車場がないからこういう状況になっています。先日、まちづくり協議会の会議を開催した時も、自動車の置き場所がなくなりました。メンバーが全員集まると80人程度になります。大変困っていますので、地区公民館の運営など全体を考えても、耐震改修についてはもう一度よく検討してほしいです。

(深澤市長)

駐車場の確保等も、更新の時期には検討させていただくことになると思います。

まずは計画どおり耐震対応したいと考えていますので、よろしくお願ひします。



## 7 市政の課題等についての意見交換（フリートーク）

（地元意見）

新庁舎の現在の進捗状況と今後の計画について、概略でよいので説明してください。

（深澤市長）

新庁舎は現在、設計の段階に入っています。設計には基本設計と実施設計の2つがありますが、今は基本設計の最終段階に差しかかっており、9月から実施設計に入っていきます。計画どおり進めば、平成29年7月には設計関係の業務がほぼ終わる予定です。その後はできる限り早く施工に入りたいので、平成29年夏から秋にかけて工事の発注を考えています。工事にはおよそ2年程度かかると考えており、平成31年夏には新庁舎が旧市立病院跡地に建ち上がるというスケジュールで鋭意進めているところです。

（地元意見）

大正地区体育館の水銀灯が2つ切れています。以前から、3つ切れないと交換してもらえないと聞いていて、そんなものかなと思っていましたが、全部が点灯してるわけではないのに利用者には電気の使用料をもらっているの、きちんとしてほしいです。

また、時計も止まっています。取り付け位置が高いのですが、どうすれば電池を取り替えてもらえますか。市では対応できないので地区で取り替えるということであれば、時計をもう少し低い位置に取り付けてほしいです。

（教育委員会事務局長）

他の体育館でも同様のご意見をいただきますが、水銀灯が天井にあることから、交換の際は電球そのものの費用より足場の工事経費がかかるため、一定の規模になってからまとめて交換したいということで進めさせていただいています。

（地元意見）

3つ切れるまで待たなければいけないということですか。

私は、電動ボタンで下げて交換できると聞いています。足場が必要だとは聞いていません。

（教育委員会事務局長）

そうであれば、現地を確認させていただきます。後日、ご相談をさせていただきます。よろしく申し上げます。

（担当課補足：生涯学習・スポーツ課）

現地で水銀灯が3個切れているのを確認したため、3個とも交換しました。

水銀灯の交換基準（交換の目安：3個以上切れた場合）については、各地区体育会長様宛てに平成23年3月8日付けで通知した「地区公民館の管理運営について（通知）」の中に記載しています。

今後もこの基準に基づき対応したいと考えていますし、3個以上切れていなくても使用

に支障のある場合は対応を検討したいと考えていますので、その際にご相談ください。

なお、交換の際の足場の必要性等交換の容易さによる優先対応は行っていません。

時計についても現地確認を行い、駐車場外灯の調整、体育館玄関・ホールの球切れ等と併せて修繕を行いました。

(地元意見)

今、自治連合会を通じて、区長会に地区活動費と町区活動費が交付されていますが、これはいつまで交付されますか。これを財源として、いつまで地区の事業が組めるものなのか、今後もずっと期待してよいのかどうかといったことがはっきりしないので、分かれば教えてください。

(地域振興局長)

予算は単年度主義ですので、来年どうなるということを明言はできませんが、現時点では大きな見直しをする予定はありませんので、引き続き現状通り交付する予定にしています。

## 8 市長あいさつ

一言お礼のご挨拶を申し上げます。

非常に限られた時間の中、多岐にわたり様々なご質問、ご意見、ご提言をいただき、心から感謝申し上げます。

下水道の整備については、2年前の地域づくり懇談会の最後の挨拶で、「しっかり取り組ませていただきたい」と申し上げたことを思い起こしているところです。改めて、しっかり進めさせていただきたいと申し上げたいと思います。

地域づくり懇談会は2年に一度の開催であり、また、1時間から1時間半という大変限られた時間の中ですので、皆様、十分ではなかったところもおありかと思いますが、地域づくり懇談会だけではなく、いろいろな形でご意見等をお寄せいただければ大変ありがたいと思います。今後も皆様と一緒に、将来を見据えた鳥取市のまちづくりをしっかりと進めていきたいと思っていますので、よろしく願います。

熱心にご議論いただいたこと、またご参加いただいたことに心から感謝申し上げ、お礼のご挨拶に代えさせていただきます。

本日は本当にありがとうございました。